佐藤可士和の打ち合わせ

水谷祐介

この本は打ち合わせの上手な仕方や臨み方を学ぶことが出来ます。

まず、私がこの本で一番学べた所は「軽々しくアイテアという言葉を使わない」という所でした。

私はまだ社会人としてちゃんとした打ち合わせをしたことがありません。しかし、打ち合わせと聞くと各自でちゃんと考えたアイデアを持ってこないといけないのだと思っていましたが、そうではなくイメージの様なあまり具体的でないものを持ち寄り皆で話し合いアイデアを作ればいいのだと知り、少し考えが変わりました。これであれば自分の思ったことが言いやすく、色々な意見が出ると思います。

私も社会人になり、これから打ち合わせの機会が増えていくと思うのでこの本で読んだ事を一つでも生かしたいと思います。